

浣腸剤

# グリセリン浣腸液 50%「東豊」

Glycerin Enema Solution

開封日 年 月 日

500mL

製造販売元  
**東豊薬品株式会社**  
東京都葛飾区西新小岩4-15-3

※2015年8月改訂(第3版)  
(組成・性状の記載方法変更)  
2009年11月改訂(第2版)  
(使用期限変更)

【貯法】 気密容器、室温保存  
【使用期限】 製造の翌月から3年

日本標準商品分類番号	872357
承認番号	22100AMX01740
薬価収載	2009年9月
販売開始	2009年9月

## 【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) 腸管内出血、腹腔内炎症のある患者、腸管に穿孔又はそのおそれのある患者  
[腸管外漏出による腹膜炎の誘発、蠕動運動亢進作用による症状の増悪、グリセリンの吸収による溶血、腎不全を起こすおそれがある。]
- (2) 全身衰弱の強い患者  
[強制排便により衰弱状態を悪化させ、ショックを起こすおそれがある。]
- (3) 下部消化管術直後の患者  
[蠕動運動亢進作用により腸管縫合部の離解をまねくおそれがある。]
- (4) 吐気、嘔吐又は激しい腹痛等、急性腹症が疑われる患者[症状を悪化させるおそれがある。]

## ※【組成・性状】

組成: 1g中 日局グリセリン 500mg  
添加物としてパラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチルを含有する。

性状: 本剤は無色澄明の粘性の液で、においはなく、味は甘い。

【効能又は効果】 浣腸用として用いる。

## 【用法及び用量】

浣腸用として通常、30~60mLを用い、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
  - (1) 局所(腸管、肛門)に炎症・創傷のある患者  
[出血を促しグリセリンが吸収され溶血を、また、腎不全を起こすおそれがある。]
  - (2) 腸管麻痺のある患者  
[蠕動運動亢進作用により腹痛等の症状を増悪させるおそれがある。]
  - (3) 重症の硬結便のある患者  
[浣腸剤では十分な効果が得られず、腹痛等の症状を増悪させるおそれがある。]
  - (4) 重篤な心疾患のある患者  
[症状を増悪させるおそれがある。]
  - (5) 乳児[患児側の反応を十分に把握できない場

合、過量投与に陥りやすい。]

4. 高齢者への投与(「高齢者への投与」、「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)
2. 重要な基本的注意  
連用による耐性の増大等のため効果が減弱し、薬剤に頼りがちになることがあるので長期連用を避けること。
3. 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

## その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>(注)</sup>	発疹等
消化器	腹痛、腹鳴、腹部膨満感、直腸不快感、肛門部違和感・熱感、残便感等
循環器	血圧変動

注)このような場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与: 高齢者では過度の瀉下作用により体液量の減少等をきたし、脱水等を起こすことがあるので、少量から開始するなど慎重に投与すること。
5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
  - (1) 妊婦: 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
  - (2) 流早産: 子宮収縮を誘発して流早産を起こす危険性があるので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。
6. 使用上の注意
  - (1) 使用時
    - 1) 浣腸用のみ使用すること。
    - 2) 注入に際し、直腸粘膜を損傷することがあるので、慎重に挿入すること。



容器: PE  
キャップ: PP  
パッキン: PE

製造番号

使用期限

挿入時、損傷を起こし、出血がみられた場合、グリセリンが血管内に入り、溶血を起こすおそれがある。  
3) 患者の状態を観察しながら投与し、異常が認められた場合には直ちに投与を中止すること。

(2) 使用後  
連続の使用を避け、使用残液は廃棄すること。

## 【薬効薬理】

グリセリンは、直腸内への注入によって腸管壁の水分を吸収することに伴う刺激作用により腸管の蠕動を亢進させ、また、浸透作用により糞便を軟化、潤滑化させることにより糞便を排泄させると考えられている。